



～学内合同就職説明会～

7月16日(土) 本学キャンパス内において、幼稚園・保育園・こども園・障害者施設等の方をお招きして、大学発達教育学部と短大 児童障害福祉専攻合同で就職説明会を開催しました。

4回目の開催となった今年度は、50団体の方々にご参加いただきました。いよいよ就職活動が山場を迎える学生にとって有意義な時間となりました。



参加した学生の感想



私は、障害のある子ども・大人の方々の発達や生活を支える施設で働きたいと考えています。植草学園大学に入学するまでは、障害についての知識はほとんどありませんでしたが、授業や実習を通して、障害について多くのことを学ぶことができました。そして、大学で学んだことを生かして、障害のある方々、その家族を支える仕事がしたいと思うようになりました。

今回の就職説明会には、たくさんの法人の方々に参加されたため、一日で複数の施設のお話を聞くことができました。事前にお話を聞きたい施設について調べていたのですが、実際に働いている方のお話を聞いてみると、具体的な仕事の内容や施設の雰囲気を知ることができました。この就職説明会をきっかけに、今後、さまざまな施設の見学や説明会に参加し、自分に合った就職先を見つけていきたいと思いました。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 4年 常世田 遥香
千葉県立銚子商業高等学校出身



～保健医療学部2年生になって～

2年生になって、座学だけではなく実技の授業も増えてきました。今まで教科書上で学んできたことを、実際に人の体に触れて行う実技練習は、難しいですが、1年生で学んだ解剖・生理・運動学等の知識が、生かされる瞬間でもあり楽しいです。

また、勉強以外の時間も自分で作るようになり、今は教習所に通っています。アルバイトもしているので、両立することは大変ですが、メインは大学での勉強なのでそれを忘れないよう頑張っています。

今年は、夏休みに3日間の見学実習が待っています。実習先で新たな知識を身に付けるためにも、日々努力したいと思います。

大学 保健医療学部 理学療法学科 2年 永島 瑞歩
千葉県立四街道高等学校出身



～前期最後のゼミを終えて～

前期最後のゼミの活動で流しそうめんを行いました。事前に役割分担をして、伐採してきた竹を割り、流しそうめんを流す樋を作成するなど、準備の段階からとても楽しかったです。当日は晴れて流しそうめん日和となりました。



流しそうめん台の設置は思っていたよりも難しかったです。特に、流しそうめんを流す竹の樋を支える三脚が不安定で、頑丈にすることに悩みました。すると、友人たちが「こうしたらいいんじゃない?」「竹を少し短くしようか!」等のアイデアをたくさん出してきて、なんとか安定した三脚を完成することができました。お互いに意見を出し合い、作業を円滑に進めることができたのは、実習等で培ってきたものだと感じました。



流しそうめんを行っているところに、学内の子育て支援センターの親子二組がやってきて、流しそうめんに参加してくれました。子どもたちは、初めての流しそうめんを楽しんでいました。保護者の方も、その姿を見てとても嬉しそうでした。

私は、幼稚園教諭になりたいと思っています。幼稚園に就職したら、このような季節の催し物を取り入れて、子どもたちにさまざまな経験をしてもらいたいです。

先生や友人たちと協力して作った流しそうめんは、いつも食べているそうめんよりもずっと美味しく、ゼミ内の仲が深まりとても楽しかったです。これからは就職活動に力を注ぎ、自分に合った就職先を見つけられるよう頑張ります。

短大 福祉学科 児童障害福祉専攻 2年生 青木 千尋
千葉県立東金商業高等学校出身



～予告～

8月のオープンキャンパス「入試説明」では、入学試験面接対策を行います。AO、推薦入試では面接を重視しています。合格につながる面接のマナーと、コツを説明します。是非ご参加ください。

オープンキャンパス開催日	入試説明の内容
8/7(日)	面接のマナー
8/20(土)	学生による模擬面接

